

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

不忍通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識（後述）や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、不忍通りの道路名の標識（写真上右）は六角形の中に 437 の数字があり都道 437 号線と知りました。都道とは東京都建設局が道路管理者で地方レベルでの幹線道路として機能する道路とのことです。寅次郎、2012 年 8 月の東京移住時に運転免許を返上したため、車で都内の道路を知ることが出来なくなりました。東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。不忍通りは文京区目白通り目白台二丁目交差点から台東区上野中央通り四丁目交差点に至る延長 8km の都道です。起点は上野中央通り四丁目との資料もあります。

今回は不忍通りの文京区目白通りから文京区千石一丁目交差点まで歩きます。寅さん歩にたびたび登場する不忍通りは沿道に社寺・庭園などの見所や文京区の坂道が沢山登場します。写真は密を避けた時間帯に撮影しました。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔目白台二丁目交差点〕 文京区目白台二丁目



写真上左は経路案内標識で六角形の中の数字は都道府県道の整理番号で、目白通りは都道 8 号線です。写真上右は目白通りの目白台二丁目交差点で、左へ進むとすぐに日本初の女子大学の日本女子大学の正門、目白御殿と称された田中角栄邸、少し行くとホテル椿山荘東京、東京カテドラル聖マリア大聖堂があり江戸川橋、飯田橋方面、右へ進むと豊島区に入り雑司ヶ谷鬼子母神入口、学習院大学があり JR 目白駅方面です。不忍通りは写真上右の横断歩道から坂を下り、始まります。不忍通りの右側を歩くと途中で坂の説明板があります。江戸時代から「清戸道に登る坂」ということで清戸坂（清土坂）と呼ばれたとのこと。1676 年(延宝 4 年)尾張徳川家の御鷹場が中清戸(現在の清瀬市)に造られ、将軍はしばしばこの坂から現在の目白通りを通り、鷹狩りに出かけていました。清戸坂の途中の歩道橋右側に日本女子大学の護国寺門(写真下左)があります。目白通りの正門からここまでが日本女子大学目白キャンパスです。なかなか入れない女子大の構内と学食を「寅さん歩 226 東京の学食めぐりー30」をご覧ください。さらに進むと上を走る首都高速道路（写真下右）が見えてきます。



不忍通り（都道 437 号線）は首都高速道路をくぐり（写真下右）直進です。右へ行くと都道音羽池袋線（都道 435 号線）で江戸川橋方面です。



さらに進むと、左側に有楽町線 護国寺駅があり、隣は護国寺です。護国寺は五代将軍 徳川綱吉が生母 桂昌院の発願により 1681 年（元和元年）造営、将軍家の祈願所になりました。現在は真言宗豊山派の総本山の一つとなっています。多くの震災や戦災にも焼けずに残った江戸時代元禄の貴重な建築物です。護国寺仁王門（表門）（写真下左）から、境内に入り本堂へのお参りをお奨めします。境内の様子は「寅さん歩 357 半径 30 分以内—5 護国寺」をご覧ください。仁王門の正面から右側に伸びる道は音羽通り（都道 435 号線）ですが、不忍通りは直進です。仁王門の先には護国寺惣門（写真下右）があります。惣門とは護国寺方丈への動線上にあり寺院の門と住宅の門の性格をあわせもつ門のことです。寺社系のものでなく大名屋敷の様式で大名屋敷惣門の現存するのはほとんどが江戸後期のものであるため、江戸中期元禄のこの門は特に貴重な文化財とのことでした。



惣門の先には写真下左の豊島岡墓地（天皇・皇后以外の皇族の墓地）がありますが、見学は出来ません。豊島岡墓地を左に見ながら不忍通りを上ります。この坂は富士見坂と呼ばれ、坂上から振り返ると富士山が見えたとのことでした。坂上の三角点は標高 28.9m で区内の幹線道路では最高点でした。昔は狭くて急な坂道でしたが、1921 年（大正 13 年）10 月に坂上の大塚三丁目交差点から護国寺まで電車が開通した時、整備されて坂は緩やかになり、道幅も広くなりました。左側の都営バス停の先に富士見坂の説明板があります。



[大塚三丁目交差点]

文京区大塚三丁目

最寄駅 丸ノ内線 新大塚駅

富士見坂を上ると大塚三丁目交差点（写真下右）で春日通りと交差します。写真下左の経路案内標識の春日通りは逆おむすびの中に 254 とあります。これは国道の表示で数字は国道番号、春日通りは国道 254 号線です。国道は国土交通省が道路管理者で全国的な幹線道路として機能する道路とのことです。大塚三丁目交差点を左へ少し行くと丸ノ内線 新大塚駅、その先は池袋方面、右へ行くとすぐにお茶の水女子大学、その先は丸ノ内線 茗荷谷駅、本郷方面です。不忍通りは直進して、今度は白鷺坂を下ります。坂名の由来は左側にある現在の大塚小学校の辺りにあった伊達宇和島藩の下屋敷が明治時代になり、荒廃して白鷺の集巢地になったことで大正から昭和の初めに名付けられました。



写真下左右は白鷺坂です。坂の終わり近くの左側の大塚小学校の植え込みの中に白鷺坂の説明板があります。都営バスの千石三丁目バス停の左側です。



[千石三丁目交差点]

文京区千石三丁目

最寄駅 丸ノ内線 茗荷谷駅

白鷺坂を下ると千石三丁目交差点（写真下右）で小石川西巢鴨線（都道 436 号線）と交差します。左へ行けば豊島区に入り J R 大塚駅方面でプラタナス通りと呼ばれ、右へ行けば文京区後楽園方面で千川通りと呼ばれ、区によって通りの呼び方が違います。不忍通りは直進で又、坂を上ります。アップダウンの地形だったことがよく分かります。千石三丁目の交差点では横断して不忍通りの右側を歩いてください。少し行くと坂名の説明板があります。



この坂は猫又坂と呼ばれています。猫又とは妖怪のことで夜な夜な狸が赤い手ぬぐいをかぶり、この辺りで踊っていたとの昔話が伝えられています。説明板の脇に猫又橋の親柱の袖石（写真下左）があります。不忍通りを谷端川（今は暗渠）が横切っていました。「寅さん歩 373 谷端川を歩くー5（最終回）」および「329 東京の博物館めぐりー16 こぼれ話」をご覧ください。写真下右は猫又坂の坂上から千石三丁目交差点を望みました。坂の勾配がよくわかります。



[千石一丁目交差点]

文京区千石一丁目

最寄駅 JR 巣鴨駅

猫又坂を上り、進むと千石一丁目交差点（写真下右）で白山通りと交差します。写真下左の経路案内標識の白山通りは逆おむすびの中に 17 の数字が表示されており、白山通りは国道 17 号線です。



千石一丁目交差点を右へ行くとかなり先ですが文京区春日、後樂園、本郷方面、左へ行くと、すぐに豊島区に入り JR 巣鴨駅、おばあちゃん原宿の巣鴨とげぬき地蔵通り方面です。巣鴨とげぬき地蔵通りは旧中山道で訪れる人を見ると休日には若い方も増えました。毎月 4 の付く日はお祭りで商店の前の路上にテントのお店も出て、多くの老若男女でにぎわっています。

今回はここまでとして、次回は文京区千石一丁目交差点から不忍通りの終点の台東区上野中央通り四丁目交差点まで歩きます。

文中に登場した坂は JVA（日本市民スポーツ連盟）の HP に掲載の「平野寅次郎の YR 散歩 No31 文京区の坂 113 ⑨目白台ブロック-2」および「No25 文京の坂 113 ⑥大塚ブロック」をご覧ください。アプリを使って文京区の坂 113 を歩くシリーズものです。FWA の HP 表紙の [JVA](#) をクリックすると、JVA の HP にリンクされます。

[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。「甲州街道 44 宿」を歩き終えた寅次郎、今度は「弥次さん、喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークです。寅次郎、「一生に一度はお伊勢参り」のうたい文句につられ 2005 年（平成 17 年）

1月29日～2月1日開催の「第1回熱田・伊勢125キロで初詣ウォーク」に参加して愛知県熱田神宮から伊勢神宮まで歩きましたが、今回は日本橋から東海道五十三次を歩いて四日市日永追分から伊勢街道に入る二回目の伊勢参りです。

2021年9月27日、日本橋を出立、10月8日、相模国（現在の神奈川県）小田原宿（日本橋から82km）に到着しました。寅次郎の生まれ故郷の藤沢宿では実家の牧野屋で弥次さん、喜多さんに牧野屋特製の地酒「メ（ひとりじめ）」をふるまいました。牧野屋は没落して現在は存在しません。

緊急事態宣言は2021年10月1日から解除されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の収束にはまだ時間がかかりそうです。例会も再開されましたが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークでやりがいがあります。今回の伊勢参りのコースシートは弥次さん、喜多さんの道中ばなし付きです。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝